

第38回富山県入札監視委員会の審議の概要

開催日及び場所	令和4年8月9日（火） 県庁4階大会議室		
委員 (委員数：5) (出席数：5)	委員長	中出孝典	(富山大学名誉教授)
	委員	伊藤始	(富山県立大学工学部教授)
	委員	大石貴之	(弁護士)
	委員	佐藤綾子	(富山国際大学現代社会学部教授)
	委員	前田陽子	(税理士)
次 第	1 開会 2 入札・契約手続の運用状況の報告 ① 富山県の入札・契約制度について ② 令和3年度下半期の入札・契約方式別発注工事の状況について ③ 令和3年度下半期の一位不動入札及び落札率100%入札について 令和3年度の一者入札、入札方式別落札率及び総合評価方式の試行結果について ④ 令和3年度下半期の低入札価格調査制度対象工事の状況、最低制限価格制度対象工事の状況及び指名停止の運用状況等について 3 審議工事の抽出結果の報告 4 抽出事案の審議 5 審議結果の報告 6 閉会		
審議対象期間	令和3年度下半期（同時期に請負契約を締結した工事）		
抽出事案	10件（審議対象工事総件数：917件）		
一般競争入札	3億円以上	1件	(事案1) 伏木富山港（新湊地区）荷役機械建設国際物流ターミナル荷役機械（NC-1）更新
	1億円以上	1件	(事案2) 西部工業用水道事業吉谷線配水ポンプ場（仮称）新築
	2千万円以上	3件	(事案3) 小矢部川水系谷内川河川改修取水堰上部工 (事案4) 一般国道472号道路橋りょう改築土玉生橋補修 (事案5) 地すべり防止（稲場平）集水井ほか
指名競争入札		4件	(事案6) 主要地方道氷見田鶴浜線道路災害復旧法面工 (事案7) 滑川海岸（高月地区）海岸総合交付金異形ブロック製作工 (事案8) 県道富山庄川小矢部自転車道線道路橋りょう改築苗島5号線下部工撤去 (事案9) 県単独治山 大勘場 溪間その2
随意契約		1件	(事案10) 県民公園太閤山ランド水辺の広場大型遊具設置
委員からの意見及び質問並びに当該質問に対する回答	意見・質問	回 答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会としての意見	令和3年度下半期における建設工事に係る入札・契約については、概ね適正に行われている。		

別 紙

意見・質問	回 答
<p>○一者入札件数の割合について、年々上昇傾向にあるのは何故か。</p>	<p>一般的に一者入札が生じるのは、他の発注機関と発注時期が重なってしまうことや手持ち工事の状況などによるものと考えられている。明確な理由は分かりかねるが、こうしたことが影響しているのではないかと考えている。</p>
<p>○事案2の工事について、3者が辞退しているが、辞退の理由についてはどのように考えているか。</p>	<p>業者の手持ち工事の状況や地理的条件、技術者の供給見通しを考慮した結果、辞退したものと考えている。</p>
<p>○事案3の工事について、なぜ工期延長をしたのか。また、それに伴い費用は発生していないのか。</p>	<p>資材不足によりその納期が延びたことによるもの。資材が納入されるまでは工場での鋼製水門も製作・現場での据付作業ができないこともあり、費用は計上していない。</p>
<p>○事案3の工事について、入札参加資格を県内に主たる営業所を有するものとし、競争性を確保したとあるが、入札参加者は2者であったことについてどう考えるか。</p>	<p>入札参加資格の設定にあたっては、技術力に加え、施工後、地元管理者が行う当該取水堰の保守管理の効率性なども考慮しつつ、競争性を確保するため、地域要件を県内に拡大しているため、妥当と考えている。</p>
<p>○事案6の工事について、8月の豪雨による斜面崩壊から工事着手まで3か月かかっているが、その間の安全性は確保されていたのか。</p>	<p>災害復旧工事に着手するには国の予算承認が必要となるため、被災後、速やかに県道の通行止めや土嚢の設置など被災拡大防止対策を実施し、安全性の確保に努めた。なお、国による予算承認後、速やかにこの災害復旧工事に着手している。</p>
<p>○事案8の工事について、変更契約額が3割を超えているため、別発注になるのではないか。</p>	<p>橋台の原図がないため、類似工事を参考に積算したが、実際には想定より地中部が深かったこと、擁壁の取壊し部分のコンクリート量が多かったことによるものであり、やむを得ない状況であった。また、増工となった部分は、橋台の撤去と不可分で一連の作業であったため、変更契約で対応した。</p>